

部局名

農学部 獣医学科

担当: 平井 卓哉

テーマ

組織標本の声を聴く



病気になると体を構成する細胞の形や並び方が変わったり、異常な細胞が増えたりします。その細胞の種類や形の変化を顕微鏡で捉えて病気の診断をします。動物は言葉を話せません。しかし、組織標本が語る声を聴き、丹念に調べて診断していきます。適切な診断ができなければ、適切な治療や予防はありません。病理診断により治療や予防に役立てるのが、獣医病理医の仕事なのです。

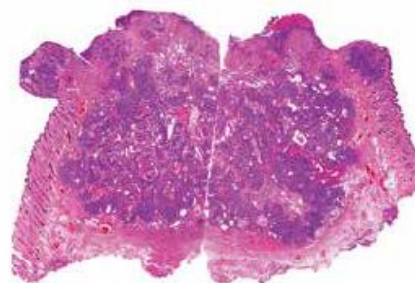


詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-vet/post-6.html>

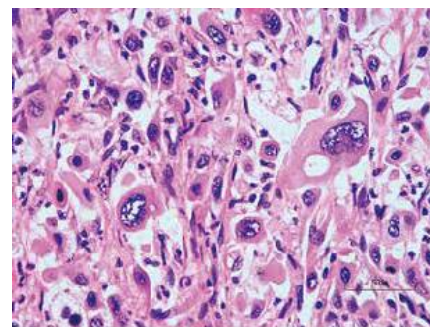


イヌの乳がんの肉眼写真 獣医学科
がん組織は白い部分です。



イヌの乳がんの組織写真 (低倍像)

写真(左)の組織標本です。青に濃染している部位でがん細胞が盛んに増殖しています。



イヌのがん細胞の組織写真 (高倍像)

細胞や核の形と大きさが不揃いになっています。